

- 11 それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。
- 12 彼らは夢で、ヘロデのところへ戻らないようにと警告されたので、別の道から自分の国に帰って行った。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年12月18日(日)

礼拝メッセージノート

「 異邦人にも示された栄光 」

アドベント⑧ マタイの福音書2：1～12 小野寺 望 牧師

【 マタイの福音書 2章 】

- 1 イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
- 2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。」
- 3 これを聞いてヘロデ王は動揺した。エルサレム中の人々も王と同じであった。
- 4 王は民の祭司長たち、律法学者たちをみな集め、キリストはどこで生まれるのかと聞いた。
- 5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれています。
- 6 『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダを治める者たちの中で決して一番小さくはない。あなたから治める者が出て、わたしの民イスラエルを牧するからである。』」
- 7 そこでヘロデは博士たちをひそかに呼んで、彼らから、星が現れた時期について詳しく聞いた。
- 8 そして、「行って幼子について詳しく調べ、見つけたら知らせてもらいたい。私も行って拝むから」と言って、彼らをベツレヘムに送り出した。
- 9 博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ、かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。
- 10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。

◆ はじめに

1. イスラエルで行われるハヌカ（光の祭り） ヨハネ10：22～

(1) 前165年にユダ・マカバイによって神殿が奪還されたことを祝う。

- ①その際、偶像のささげ物で穢れた神殿をきよめようとした。
- ②灯した明かりが消えずに燃え続けたという奇蹟が、祭りの由来。
*至聖所から消えたシャカイナ・グローリー（主の栄光）を求めて・・・

(2) キリスト教がクリスマス（12/25）に祝う起源の一つと考えられる。

- ①同じ光を求めながら、違うものを見ている矛盾

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール | キリストを礼拝する異邦人への励まし

*このメッセージは、異邦人をも御子のもとに招かれる神を賛美するものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

I 東方の博士の訪問

1. 博士たちの素性

- (1) 「東方」：エルサレムから東方のメソポタミア地方、バビロニアを指す。
- (2) 職業：天文学者（原語は「マギ」（複）、知者、厳密には占星術師の意）
- (3) 目的：「ユダヤの王としてお生まれになった方」を礼拝するため。

①ユダヤ人でなくても礼拝するに相応しい王であることを知っていた。

*因みにこの赤子は、70人訳（ギリシャ語）で【主】（契約の神の御名）を表す「キュリオス」（当時、実際の王を指す言葉）と等しいお方。

*ヘブル語「メシア」（油注がれた方）に等しく、礼拝すべき存在であることが異邦人にも分かる。

②相応しいささげ物（黄金、乳香、没薬）も用意していた。

*博士たちは3人ではない（博士に名前が付され、3人に限定されたのは後世の伝承）

③その誕生のタイミングも、恐らく知っていた。

2. 王の誕生を何で知ったか

(1) 預言者ダニエル

①ダニエルは捕囚の際、占星術師たちの学者たちの筆頭に立った。ダニ2：48

*彼自身は偶像礼拝者ではなく（律法で禁じられている）、模範的な信仰。

②メシア誕生のタイムテーブル「七十週の預言」 ダニ9：24-27

(2) 預言者バラムと民数記

①バラムは異教の預言者で、バビロニア出身の占星術師。民22：5、申23：4

②神の御手により、彼が意図せずに語ったイスラエルを祝福する預言の中で、来るべきメシアと「杖」（王権）と「星」を結んだ。民24：17

2. 不思議な星のいざない（博士たちの証言より）

(1) 星の動き：①東から西に、そして北（エルサレム）から南（ユダ）に。

②神の臨在をあらわす光（シャカイナ・グローリー）が異邦人に現れた。

(2) メシアの性質を表した：民数記のメシア預言の成就。メシアは王である。

(3) メシアが誕生した場所を示した：捕囚前に書かれたミカ書の不理解を補う？

III 歴史にみる光と闇の競り合い

1. 年代の確定 ～イエス誕生劇の全貌

(1) ヘロデ大王が死んだ年から判断して、誕生は紀元前4年以前である。

*イエス誕生の年を元年とする紀年法（キリスト紀元・西暦紀元）は、524年にローマの僧ディオニシウス・エクシグウスによって創案されたが、この計算に誤差があった。

(2) 皇帝アウグストゥスの勅令による人口調査は「クレオパトラがシリアの総督であったとき」、紀元前8年に行われた。紀元前8～4年の間に誕生したことになる。

(3) 歴史家ヨセフスによると、ヘロデ大王は病状悪化のため紀元前5年にエルサレムからエリコに居を移し、そのまま最期を迎えた。

①東方の博士たちを迎えたのはエルサレムであったので、紀元前5年より前に誕生したということになる。

②さらにマタイの福音書の記述から、既にイエスは2歳位になっていたため、誕生年は紀元前7～6年という事になる。

2. 悪魔につく指導者とメシアを喜ぶ人々

(1) ヘロデ王の無知：ミカ5：2は、ユダヤ人にとって常識。

*博士の証言から、星は約2年に渡り現れたことから、メシア誕生の時期が特定された。

(2) ヘロデ王の側近たち（祭司や律法学者）の無関心

(3) 二歳以下の幼児を虐殺：悪魔がヘロデ大王の猜疑心を用いた、神への反抗

(4) しかし、メシア誕生を祝う者たちを導き、神の計画は進展した。

◆ まとめ：キリストを礼拝する異邦人への励まし

1. 博士たちがメシア礼拝に用意した3つの備え～黄金、乳香、没薬（11節）

(1) ささげ物はメシアを表す。キリストは王であり、神であり、死なれるお方である。

*それらの知識も、預言者ダニエルなどから知り得る真理である。

(2) 博士たちの確信と信仰を表す。それぞれが宝箱に収められた高価なもの。

*異邦人であっても、選びの民とメシアの到来を喜べ！（ロマ15：10-13）

2. 環境を超えて育まれる信仰 ～神はクリスマスを通して、あなたに働かれる

(1) 博士たちの信仰を神は受け入れ、メシア降誕の証言者として用いた。

①与えられた状況で、期待と好奇心と喜びをもって、神を受け入れる大切さ。

*光の国と闇の国の戦いのはざままで起こった、決定的な出来事を受け入れよ。

②神はいつも、メシアを知るための赤星を（比喩的に）用意してくださる。

③王なるキリストを証しする声（星）に耳を傾け、救い主を受け入れよ！。

博士たちの信仰に続いて、今度は私たちも応答しよう。メリークリスマス！